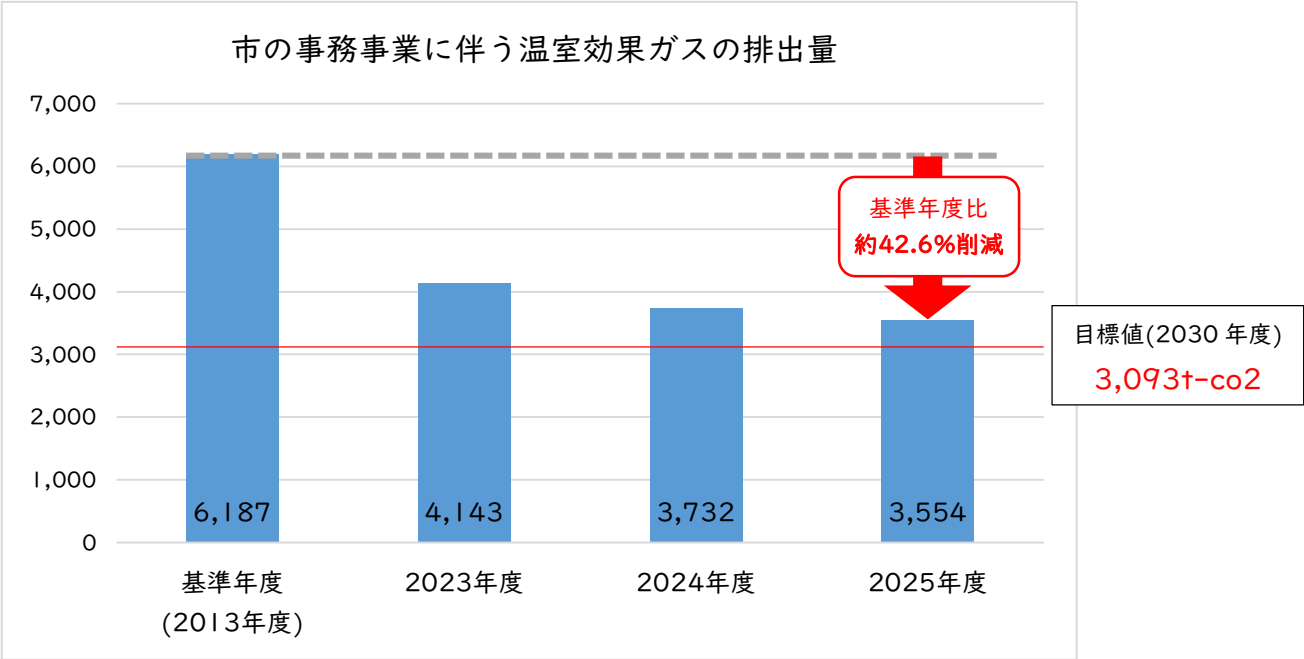


令和7年度 温室効果ガス排出量の実績報告

1.市の事務事業に伴う温室効果ガスの排出状況



基準年度(2013年度)と比較して約42.6%減少しています。また、前年度実績と比較して、約4.8%減少しています。2030年度の目標値である3,093t-co2に向けて、着実に排出量が削減されています。減少の要因としては、公用車の電気自動車への切替等によるガソリン使用量が減少したものと考えられます。

なお、CO2 排出係数は「調整後排出係数」を用いて算定を行っています。

調整後排出係数…再生可能エネルギーの利用や排出量削減策などによって削減された排出量を考慮したCO2 排出係数のこと。より実態に近い排出量を把握することができるとされています。

項目別温室効果ガス排出量

項目	温室効果ガス排出量 (t-CO2)		
	令和6年度	令和7年度	増減率
電気	2,548	2,449	-3.7%
A 重油	185	200	8.1%
ガソリン	115	86	-25.2%
灯油	235	231	-1.7%
都市ガス	280	257	-8.2%
LP ガス	98	79	-19.4%
軽油	52	32	-38.5%
カーエアコン使用	2	3	50.0%
浄化槽	217	217	0.0%
合計	3,732	3,554	-4.8%

2.市役所における地球温暖化対策の具体的な取組

職員の省エネルギー行動の徹底

- ・ブラインドやサーキュレーター等を活用して冷暖房を効果的に使用しました。
- ・職員の移動時に電気自動車を率先して使用することに努めました。

省エネルギー公用車の導入

- ・令和7年度は電気自動車を5台導入し、各庁舎へ配置しました。累計で17台導入しています。

省エネルギー設備等の導入

- ・社会教育施設（多世代交流館、体育館、大間々図書館）、学校施設（笠懸東小学校、笠懸中学校、笠懸南中学校）の照明器具をLED照明器具に切り替えました。

再生可能エネルギー100% 電力の導入

- ・令和8年度から電力調達プラットフォーム「エネオク」を活用し、公共施設に再エネ100%を目指して導入について検討を進めます。

新築建築物

- ・今後予定する新築事業については原則 ZEB Oriented 相当以上とし、可能な限り ZEB Ready 相当を目指します。